

12月15日：ベトナム株は利益確定により下落

直近の上昇が投資家の大量の利益確定売りを招いたため、火曜日のベトナム株は2連騰後に調整した。

ホーチミン市場は主要指標のVN指数が0.83%安の1,055.27ポイントと反落した。

同指数は直近2日で3.2%上昇していた。

6億7,500万株以上が取引され、売買代金は13兆5,000億ドン（5億8,400万ドル）だった。

下落銘柄数が262と上昇銘柄数181を上回った。

「VN指数は朝方始まりから午後の中盤にかけて、前日終値付近で大体推移したが、利益確定売りに押され、1,055ポイントあたりまで調整した」（BIDV証券）

「一方で、外国人投資家はホーチミン市場で売り越しを、ハノイ市場では買い越しを続けた。値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、前日比で流動性は増加し続けた」（BIDV証券）

「我々の見方では、今回の調整はそのトレンドを変えるのに十分ではない、そしてVN指数は次回以降の取引で1,050ポイントより上で推移しそうだ」（BIDV証券）

ホーチミン市場で外国人投資家は8,232億5,000万ドン以上を売り越し、そのうちビナミルク（VNM）2,181億ドン、ビンコムリテール（VRE）1,488億ドン、SSI証券（SSI）841億ドンが含まれた。ハノイ市場で外国人投資家は13億1,000万を買い越した。

大型株に連動するVN30指数は1.1%安の1,013.02ポイントだった。

VN30指数の構成銘柄のうち24銘柄が下落、3銘柄が上昇した。

ベトナム外資銀行（VCB）-2.1%、VPバンク（VPB）-2.1%、ビナミルク（VNM）-1.9%、ペトロベトナムガス（GAS）-1.8%、ホアファットグループ（HPG）-1.7%といった大型株は利益確定売りが重荷となった。

セクター別では全 25 業種中、小売り、保険、IT、エネルギー、銀行、食品飲料、建材といった 12 業種の指数が下落。

下落幅は 0.2～1.2%だった。

その半面、水産加工、ゴム製品、建設、運輸、卸、不動産、証券、ヘルスケアは上昇した。

ハノイ取引所は、HNX 指数が 1.28%上昇し、167.87 ポイントだった。

1 億 1,160 万株近くが取引され、売買代金は 1 兆 4,000 億ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。